

**在スロバキア日本国大使館**  
**政治・経済月報（2020年6月）**

目 次

**新型コロナウイルス**

◆6月30日現在の感染者情報	2
◆スロバキア入国者に対する検疫措置の撤廃等	2
◆スロバキア外務・欧州問題省による海外渡航情報の危険レベル引き下げ	3
◆国内規制措置の緩和	4
◆緊急事態宣言の終了	4

**内 政**

◆トリアノン条約100周年	5
◆ペレグリニ前首相の離党及び新党結成	6
◆政党支持率調査結果	6

**外 政**

◆マトヴィチ首相のV4首脳会合出席	7
-------------------	---

**社 会**

◆ヴルーツキ市の小学校襲撃事件	7
-----------------	---

**経 済**

◆スロバキア国立銀行の最新経済予測	7
◆GDP, 雇用率, 輸出額の減少	8
◆店舗賃料補助に関する法案の国会可決	8
◆5月の失業率	8

**別添：主要経済指標**

※本月報は公開情報を在スロバキア日本国大使館がとりまとめたものです。

## 新型コロナウイルス

### ◆6月30日現在の感染者情報

- (1) 累積感染者数 1687名 (前日比+20名。30日の検査数は2063件。同日までの累積検査数は21万1813件)
- (2) 同死者数 28名 (前日比+0名)
- (3) 同治癒者数 1466名 (前日比+2名)

### ◆スロバキア入国者に対する検疫措置の撤廃等 (公衆衛生局, 内務省, 交通・建設省プレスリリース)

#### 【スロバキアへの入国者に対する検疫措置の撤廃】

##### (1) 6月10日以降

既に国境を開放している3か国(チェコ, ハンガリー, オーストリア)【政治・経済月報(2020年5月)参照】に加えて, 新たに, 16か国(ドイツ, リヒテンシュタイン, スイス, スロベニア, クロアチア, ブルガリア, キプロス, マルタ, ギリシャ, エストニア, ラトビア, リトアニア, フィンランド, ノルウェー, デンマーク, アイスランド)からの入国者を検疫免除対象とする。

直近14日間で上記19か国以外の国に滞在していた者がスロバキアに入国する場合, 96時間以内に発行されたPCR検査の陰性証明書を, 国境でスロバキア警察に提出しなければならない。スロバキア入国の際に国境検問が実施されていない場合, 上記陰性証明書を, 入国後遅滞なく最寄りの公衆衛生局に提出しなければならない。上記陰性証明書については, 英語, ドイツ語, チェコ語若しくはスロバキア語で発出されたもの, 又は上記4言語のいずれかの言語に翻訳されたものを提出する必要がある。また, これらの者は, 入国後5日経過してから, スロバキア国内でもPCR検査を受ける必要があり, 同検査で陰性が証明されるまでは, 同居する者も含めて, 自主隔離を実施しなければならない。

##### (2) 6月20日以降

新たに, 4か国・地域(ポーランド, モンテネグロ, モナコ, フェロー諸島(デンマーク))を, 入国後の検疫免除対象に指定。

##### (3) 7月6日以降

新たに, 11か国(日本, 中国, 韓国, 豪州, ニュージーランド, ベルギー, フランス, オランダ, アイルランド, スペイン, イタリア)を入国後の検疫免除対象に指定し, 2か国(ブルガリア, モンテネグロ)を検疫免除対象から除外。

直近14日間に下記32か国・地域(豪州, ベルギー, キプロス, チェコ, 中

国、デンマーク、エストニア、フェロー諸島（デンマーク）、フィンランド、フランス、ギリシャ、クロアチア、オランダ、アイルランド、アイスランド、日本、韓国、リヒテンシュタイン、リトアニア、ラトビア、ハンガリー、マルタ、モナコ、ドイツ、ノルウェー、ニュージーランド、ポーランド、オーストリア、スロベニア、スペイン、スイス、イタリア）以外の国に滞在していた場合、入国後5日経過してからスロバキア国内でPCR検査を受ける必要があり、同検査で陰性が証明されるまでは、同居する者も含めて、自主隔離を実施しなければならない。

（当館注：96時間以内に発行されたPCR検査の陰性証明書の入国時の提出義務が廃止された。）

#### 【民間機離発着禁止措置の緩和】

（1）6月10日以降

19か国（チェコ、ハンガリー、オーストリア、ドイツ、リヒテンシュタイン、スイス、スロベニア、クロアチア、ブルガリア、キプロス、マルタ、ギリシャ、エストニア、ラトビア、リトアニア、フィンランド、ノルウェー、デンマーク、アイスランド）とスロバキアを結ぶ民間機の離発着を許可。

（2）6月20日以降

新たに4か国・地域（ポーランド、モンテネグロ、モナコ、フェロー諸島（デンマーク））とスロバキアを結ぶ民間機の離発着を許可。

#### ◆スロバキア外務・欧州問題省による海外渡航情報の危険レベル引き下げ（外務・欧州問題省プレスリリース）

スロバキア外務・欧州問題省は、全ての国に対する渡航情報の危険レベルを「レベル3：渡航中止勧告」（4段階中、上から2番目）としていたが、他国からスロバキアへの入国制限措置の緩和に応じて、以下のとおり一部の国の危険レベルを引き下げている。

（1）6月5日

ハンガリーに対する危険レベルを、「レベル1：注意」（4段階中、1番下）に引き下げ。

（2）6月6日

チェコに対する危険レベルを、「レベル1：注意」に引き下げ。

（3）6月10日

オーストリア、ドイツ、リヒテンシュタイン、スイス、スロベニア、クロアチア、ブルガリア、キプロス、マルタ、ギリシャ、エストニア、ラトビア、リトアニア、フィンランド、ノルウェー、デンマーク、アイスランドに対する危

険レベルを、「レベル1：注意」に引き下げ。

(4) 6月20日

ポーランド、モンテネグロ、モナコ、フェロー諸島（デンマーク）の危険レベルを「レベル1」に引き下げ。ただし、（感染が拡大している）ポーランドのシロンスク（シレジア）地方については、「レベル2：不要不急な渡航の中止を勧告」への引き下げ。

#### ◆国内規制措置の緩和（公衆衛生局プレスリリース）

(1) 6月10日以降

ア ショッピングセンター内の子供向け遊戯場、ナイトクラブ等の営業を許可。

イ 入店制限（10㎡あたり1名、客同士の距離を2m以上空ける、又はテーブル間を2m以上空ける）を撤廃。

ウ 500人未満の大規模イベントの開催を許可。

(2) 6月20日以降

ア 小売店日曜日営業禁止措置を撤廃。

イ タクシーの前の席（運転手の隣）にも着席してよい。

ウ 屋外でのマスク着用義務を撤廃。屋内でのマスク着用義務は一部例外を除き継続。

(3) 6月22日以降

（6月1日から再開した幼稚園及び初等学校（注：日本の小中学校に相当）の一部学級（1～5年生）に加えて、）初等学校及び中等学校（注：日本の高校に相当）の全ての学級を再開。ただし、登校は任意。

(4) 7月1日以降

1000人未満の大規模イベントの開催を許可。一定の条件を満たせば、着席を伴う大規模イベントについては1000人以上のイベントも開催可。

#### ◆緊急事態宣言の終了（10日付内務省プレスリリース及びTASR通信）

10日、政府は、6月13日に終了する緊急事態宣言を延長しない旨決定した。緊急事態宣言は、3月16日に発令され、医療分野及び社会福祉分野に適用されていた。緊急事態宣言の終了に伴い、医療関係者に対する労働義務及びストライキ禁止措置が撤廃される。緊急事態宣言の適用期間は、法律により90日間と定められている。

3月11日に発令された特殊状況宣言については、緊急事態宣言終了後も継続される。

## 内 政

### ◆トリアノン条約100周年

#### 【4日付外務・欧州問題省プレスリリース】

本日（4日）、トリアノン条約調印から100周年を迎えた。同条約により、オーストリア・ハンガリー二重帝国の解体と、第1次世界大戦が終結した1918年に誕生したチェコスロバキアやハンガリー等の国々の独立が承認された。

スロバキアは、市民主義（citizen principle）に基づいて個人の自由を認める民主主義国家であり、スロバキア市民は皆平等の権利を有している。また、少数民族は、国際条約に基づく権利だけでなく、国際水準以上の権利も有している。

スロバキアは、1995年にハンガリーとの間で結ばれた基本条約に基づいて、友好関係を一層発展させることに関心を有している。基本条約調印により、トリアノン条約に関する問題は解決されている。スロバキアは、EU及び民主的な国際諸機関のメンバーとして、ハンガリーと共に過去ではなく未来に目を向けていく。

#### 【マトヴィチ首相とハンガリー系少数民族代表者との会合、ハンガリー系コミュニティ党（SMK）による覚書提出（8日付Dennik N紙）】

2日、マトヴィチ首相（普通の人々・独立した人達（OLaNO）代表）は、トリアノン条約100周年を前に、ハンガリー系少数民族100名の代表者（政治家、聖職者、NGO、学者、メディア等）をブラチスラバ城での会合に招待した。マトヴィチ首相は、ハンガリーとスロバキアの共通の歴史及びハンガリー文化を評価するとともに、「スロバキアのハンガリー系住民は、ハンガリー語、スロバキア語及びチェコ語を理解することから、最も中欧的なコミュニティを形成していると言える」と述べた。同会合は、友好的な雰囲気の下行われた。

ハンガリー系コミュニティ党（SMK。国会議席なし）は同会合において、「ハンガリー・コミュニティの覚書」と題する文書をマトヴィチ首相に対して提出するとともに、メディアに対しても同文書を公開した。覚書では、ハンガリー系住民に対する支援強化の他、スロバキア国内におけるハンガリー系住民の自治権、ハンガリーの国家シンボル（国歌、国章、国旗）利用の権利、ハンガリー系住民の地位に関する憲法改正等も要求されている。

4日、マトヴィチ首相は、「SMKは、（ハンガリー系少数民族代表者との会合を主催した同首相の）好意を悪用した」と述べ、SMKの覚書を批判した。同日、コルチョク外務・欧州問題相も、「SMKの覚書は、スロバキアと

ハンガリーの良好な関係に寄与しない」と述べた。

#### ◆ペレグリニ前首相の離党及び新党結成

##### 【11日付スメ紙】

10日、最大野党「方向-社会民主主義（Smer-SD）」のペレグリニ副党首（前首相）は離党を表明するとともに、社会民主主義を標榜する新党を設立すると述べた。ペレグリニ副党首は、2月国会総選挙敗北の結果を受けて、フィツォ Smer-SD 党首（元首相）の退任を要求していた。

##### 【18日付スメ紙】

17日、ペレグリニ Smer-SD 副党首（前首相）に続き、ラシ前副首相、ジガ前経済相、サコヴァー前内務相等の有力議員10名が、Smer-SD からの離党を表明した。

##### 【30日付プラウダ紙】

29日、ペレグリニ前首相は、新党の名称を「声-社会民主主義（Hlas-SD）」とする旨発表した。Hlas-SDは、現在、政党登録に必要な署名を集めている。ペレグリニ前首相は、「我々は地域の人のための声になりたい。社会民主主義を国民のために取り戻したい」と述べるとともに、「9月に、2月の国会総選挙で議席を獲得できなかった政党と、今後の協力について協議したい」と付言した。

#### ◆政党支持率調査結果（30日）

世論調査機関Focusによる、政党支持率調査の結果は以下のとおり（括弧内は支持率に基づいた議席数）。ペレグリニ前首相の新党Hlas-SDの支持率が与党OLaNOに肉薄している一方で、Smer-SDの支持率は大きく下落している。

政党	Focus	2020年選挙
OLaNO（普通の人々・独立した人達）	20.3%(37)	25.02%
Hlas-SD（声-社会民主主義）	19.3%(36)	—
Sme rodina（我々は家族）	9.6%(18)	8.24%
Smer-SD（方向-社会民主主義）	9.5%(17)	18.29%
SaS（自由と連帯）	8.8%(16)	6.22%
LSNS（我々のスロバキア）	8.3%(15)	7.97%
PS（プログレッシブ・スロバキア）	5.9%(11)	※6.96%
Za ludi（人々のために）	3.5% (-)	5.77%

※PS/Spoluとしての得票率。PSは、2020年国会総選挙にSpolu(共に)と政党連合を形成して参加した。

## 外 政

### ◆マトヴィチ首相のV4首脳会合出席（11日付首相府プレスリリース）

11日、マトヴィチ首相は、チェコ・レドニツァで行われたV4首脳会合に出席し、次期EU多年度財政枠組み（MFF）及び欧州復興基金について話し合った。マトヴィチ首相は、「V4諸国は、コロナ危機に対するEU共通の立場を支持しているが、補助金の分配に関しては、欧州委員会に対して、より一層の信頼、自由及び公正を求めている」と述べた。

マトヴィチ首相は、「スロバキアは、欧州委員会による補助金分配基準を前向きに受け止めているが、前向きに受け止めていないハンガリー及びチェコの立場も理解している。幾つかの国のみが恩恵を受ける状況が作り出されてはならない」と述べた。（当館注：ハンガリー及びチェコは、欧州委員会が提案した配分メカニズムに一部反対している。）

## 社 会

### ◆ヴルートキ市の小学校襲撃事件（11～12日付 TASR 通信）

11日、ジリナ県ヴルートキ市で、22歳の男が刃物を持って小学校を襲撃し、1名（副校長）が死亡、5名（児童2名、教員1名、警察官2名）が負傷した。男は現場から逃走したが、駆けつけた警察官に射殺された。男は襲撃した小学校の卒業生で、犯行の動機は不明。

## 経 済

### ◆スロバキア国立銀行の最新経済予測（11日付プラウダ紙）

スロバキア国立銀行（NBS）の最新の中期予測によると、外需の低迷及び国内経済活動の停止により、2020年のGDP成長率は過去最悪のマイナス10.3%となる見通し（2009年経済危機時のGDP成長率はマイナス5.4%）。2020年の賃金上昇率も、スロバキア史上初めてマイナスに転じる見込み（マイナス1.7%）。スロバキア経済は、2021年より回復基調に転じるとみられる。

NBS中期予測の主なポイントは以下のとおり。

#### （1）GDP

2020年：10.3%減、2021年：8.4%増、2022年：4.5%増

#### （2）失業率

2020年：7.4%、2021年：8.5%、2022年：8.0%

#### （3）賃金上昇率

2020年：1.7%減、2021年：8%増、2022年：5.7%増

#### (4) 物価

2020年：1.9%増，2021年0.8%増，2022年：1.3%増

#### ◆GDP，雇用率，輸出額の減少（10日付Symsite及びプラウダ紙）

欧州統計局によると，第1四半期のスロバキアのGDPは，前年同期比で5.2%減少した。スロバキアのGDPは，フランスとイタリア（ともに5.3%減少）に次いで，EUで3番目に大きく減少した。

欧州統計局によると，第1四半期のスロバキアの雇用率は，前年同期比で0.5%低下した。スロバキアの雇用率は，スペイン（1.0%低下），ベルギー（0.9%低下）に次いで，EUで3番目に大きく低下した。

スロバキア統計局によると，4月の商品輸出額は前年同期比で43%，商品輸入額は同36.6%それぞれ減少した。同月の貿易赤字額は4億9210万ユーロであった。

#### ◆店舗賃料補助に関する法案の国会可決（10日付プラウダ紙）

9日，スロバキア国会は，店舗賃料補助に関する法案を可決した。これにより，コロナ危機中の店舗閉店を余儀なくされた者は，最大50%の店舗賃料補償を国に申請することができる。店の経営者は申請前に，賃貸人との賃料割引交渉を行う必要がある。経営者は，賃料の割引額と同額の補償を，国に申請することができる（賃貸人による割引額が50%の場合，国からの補償額も50%。賃貸人による割引額が30%の場合，国からの補償額も30%）。政府は，7万～10万件の申請件数を見込んでおり，計2億ユーロを拠出する見通しである。

#### ◆5月の失業率（22日付 Symsite）

労働局によると，5月の失業率（登録ベース）は，4月から0.63%上昇し，7.2%となった。

求職者数は，（コロナ危機による解雇通告から実際に失職するまでの）2～3か月の通知期間が終了し，また，高校及び大学の卒業生が求職登録する夏に増加するとみられる。失業率は，夏の季節労働者雇用が終了して卒業生が労働市場に流入する秋にピークを迎え，10%まで上昇すると予測される。

(了)

# スロバキア主要経済指標

(出典:スロバキア統計局)

